

平成 24 年 11 月 8 日

歯科からの報告

岡野友宏（昭和大学歯学部）

本年 4 月以降の経緯は以下の通りである。

平成 24 年 4 月 ICD-11 Alpha version に対する意見聴取が OH TAG Chair, Professor Ramon Baez から Resource Person (Professor Agnès Bloch-Zupan, Strasbourg, France と岡野) 宛にあり、意見を返送した。

平成 24 年 6 月 日本歯科医学会用語委員会に ICD-11 改訂に関わる臨時会議を設定した。専門分科会からの推薦で、以下の 3 名が参加した。代表：岡野友宏、委員：林善彦（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科）・島内英俊（東北大学大学院歯学研究科）・美島健二（昭和大学歯学部）

平成 24 年 6 月 日本歯科医学会 ICD-11 臨時会議に、日本口腔科学会 ICD 委員会の柴原孝彦（東京歯科大学）・川又均（獨協医大）および腫瘍 TAG 国内検討会の山口朗（東京医科歯科大学大学院）の 3 氏を加え、メーリングリスト（icd11jp@showa-u.ac.jp）での意見交換を開始した。現時点での意見をまとめて WHO OH TAG 事務担当者に送付した。

平成 24 年 7 月 厚労省社会保障審議会統計分科会疾病、傷害及び死因分類専門委員会の専門委員として、日本歯科医学会および日本口腔科学会として、岡野を推薦することとした。

平成 24 年 9 月 OH TAG Chair, Baez 教授から岡野宛に β 版の reviewer 依頼があり、その後登録された。

平成 24 年 9 月 WHO 口腔健康プログラム責任者で OH TAG 担当の Dr. P. E. Peterson から ISO/TC106 Dentistry SC3 Terminology の関係者への協力依頼と感謝の文書が配布された。

平成 24 年 10 月 ISO/TC106 Dentistry Paris 会議にて SC3 Terminology/WG2 convener であり、OH TAG Chair の Baez 教授から ICD 11 の進行状況への説明があった。

以上。